

われら官僚主導を排す

# 民益論

鳩山由紀夫

菅直人

古川元久



われら官僚主導を排す

# 民益論

鳩山由紀夫

菅直人

企画  
古川元久

民益論——われら官僚主導を排す

---

1997年7月3日 第1版第1刷発行

著者 鳩山由紀夫人  
菅直人  
発行者 江口克彦  
発行所 P H P 研究所  
東京本部 〒102 千代田区三番町3番地10  
第一出版部 ☎03-3239-6221  
普及一部 ☎03-3239-6233  
京都本部 〒601 京都市南区西九条北ノ内町11  
☎075-681-4431  
印刷所 図書印刷株式会社  
製本所

---

©Yukio Hatoyama & Naoto Kan 1997 Printed in Japan

落丁・乱丁本の場合はお取り替えいたします。

ISBN4-569-55642-6

はじめに

鳩山由紀夫

イギリスでは四十三歳のトニー・ブレア党首率いる労働党が総選挙に勝利した。メイ  
ヤー前首相の下で経済は順調であり、政治的にも大きな失敗はなかつた。なかのようと思われ  
たのだが、英国国民は変化を求めた。彼らはたしかに一八年間続いた保守党サッチャーの  
ムに飽きていた。しかし、それだけがこの劇的な労働党の勝利に十分であつたとは到底思  
えない。やはり、新たな選択は、トニー・ブレアという人間の新鮮な魅力と、労働党を  
労働組合依存型から脱却させ、政策転換に成功した彼の指導力が原動力となつたと間違  
いない。保守党がスキャンダルで悩まされるなか、女性候補を大量に擁立し、組合との政  
治資金関係もすべてオープンにした労働党はきわめて清潔な印象を与えた。国民は変化と  
同時に安定も求める。このまま政治にノーを唱える人々も、変化の先にさらなる不安定が  
待ち受けていると感じたときには動くことをためらう。英国国民はトニー・ブレアに、そし  
て労働党に、期待感だけでなく、安心感も得たことがなだれの勝利に結び付いたことと信

じる。

翻つて日本ではどうか。四年前、長期にわたる自民党政権の腐敗に辟易した国民が変化を切望し、細川内閣を誕生させた。しかし、待ち受けていたのは、さらなる不安定だった。連立与党内の確執、野党自民党の政権に対する凄まじい憎悪、そして、変わらぬ官僚支配の政治。極め付きが国民福祉税騒動であった。以来、国民は改革という言葉自体にも嫌悪感を示すようになり、政治に関心がある人々が政治から遠ざかり、青島・ノック現象を生んだ。いまは自民党主導の政治が蘇り、社民党とさきがけの協力の下で政権運営がなされているが、それも時間の問題で、自党内では小沢一郎党首の新進党と組むか、核抜きの新進党と組むか、といった、いずれにしても保保連合の話が賑やかになっているという。

しかし、私たちは、政治に絶望しかかっているながらも、この日本をどうしてくれるのだと心中で叫んでいる多くの人々がいることを知っている。彼らは現政権が行政改革すら満足に成しえないことを見抜いている。彼らは結局は官僚作の行政改革では自分達の期待は骨抜きにされることを喝破している。今日まで自分たちが築き上げ、歩んできた社会構造そのものに原因があることにも気付いている。ただ、同時に彼らが慣れ親しんできた時代

遅れの社会構造を壊さねばならないと決意するには、来るべき未来の社会がより安定的である保証が欲しいのだ。そして、それこそが政治家の務めであり、菅直人代表らと共に立ち上げた民主党の存在意義であり、責任である。まさにトニー・ブレアが英国国民に示したように、私たちが日本の国民に示すときなのである。

それでは、壊すべき社会構造とは何か。それは、一方で「政官業」、他方で「政労」のそれぞれの固定化した保身構造であり、政治的には権力化し、腐敗した与党と万年野党との馴れ合いの構図である。その構造は国家中心主義を生み、官僚主導の政治をもたらし、中央集権的発想から抜けることができない。規制緩和や行政改革は実質より形式が先行し、金融、証券、福祉、建設など、業界のいたるところで政界、官界との間の不祥事が絶えない。また、誰も責任を取らないシステムが構築されており、たとえば、薬害エイズに止まらず、ヤコブ病禍が生じて、政官業いずれも責任の所在を明確にしようとしめない。当然ながら、保保連合や自民党中心の政治は、この社会構造を温存することになる。民主党はこの社会構造を打破するために生まれたといっても過言ではない。自らに対して苦痛を伴う挑戦であることは覚悟の上で、それぞれ団塊の世代の責任であるとの思いで戦いに臨んでいる。

それでは、構築すべき新たな社会構造とは何か。それは自立と共生の社会であり、私はそれを友愛社会と呼んでいる。より具体的には、国家より国民中心主義の考え方であり、官僚の手から政治家の手に政治を取り戻し、中央集権的発想ではなく、地域に主権の存在する国家に変え、上意下達を拒み、ネットワーク型意思決定を行う社会である。一言でいえば、国益より民益を重視する社会を創ることである。補助金行政から市民の自立化支援の行政への転換は、基本的に自分が責任を負う覚悟をもつことを前提としており、市民の側の意識改革が同時に求められることはいうまでもない。

誰が考えても理不尽な諫早湾や中海の干拓事業が国民の意思を超え、国家の意思として続行され、見直されない。思えば納税者の意思はどこへ行ってしまったのか。このような不可解で不透明な事業は枚挙にいとまがない。いまこそ全国の納税者がより良き社会の構築に向けて、政治に関心を集中して下さることを切に望みたい。

官僚を取るか、納税者を取るか、その結論は、あなた自身が握っている。

民益論

——われら官僚主導を排す

目次

## 第一部——政治こそ民益の代表

### 政と官の関係……………15

■「官」に取り込まれた「政」——菅直人 17

■政は自ら官に取り込まれた——鳩山由紀夫 21

■自己肥大化したのは、やはり官だ——菅直人 24

■当選至上主義が政官の癒着を生んだ——鳩山由紀夫 30

■タテ割り型社会が人材不足を招く——菅直人 38

### 官僚主導の終焉……………43

■責任回避の官僚に危機は救えない——菅直人 45

■ 諫早湾を突破口にして公共事業の見直しを——鳩山由紀夫 54

■ 志ある若手官僚に期待する——鳩山由紀夫 57

## 立法府復権のとき

■ 行政の植民地化した国会を独立させよ——菅 直人 63

■ 「霞が関焼き討ち」の武器はこれだ——菅 直人 68

■ 副大臣をつくり政府委員を廃止せよ——鳩山由紀夫 74

■ 人質大臣たちは霞が関から脱出できない——菅 直人 77

■ 行政改革法案は霞が関抜きで作成せよ——菅 直人 83

## 第二部——未来への責任

### 二二世紀の日本社会

■ 精神的な価値を重視する社会を目指す——鳩山由紀夫 91

## 覚悟と決断のとき

- 「自由」と「安心」が両立する社会を目指す——菅 直人 97
- 国が守らなければならないものは何か——鳩山由紀夫 105
- 「日本のために」という発想を超えろ——菅 直人 110
- アジア外交の基本は「自立」と「共生」——鳩山由紀夫 112

117

## 民主党の誕生

- 甘えの構造が社会全体に広がっている——鳩山由紀夫 119
- 日本中「私の責任ではありません」の大合唱——菅 直人 122
- ネットワーク型政党を実験中——菅 直人 131
- 国民の意識を「依存」から「自立」へ導く——鳩山由紀夫 136
- お手本にすべきはイギリスの政党システム——菅 直人 140

129

民主党のビジョン……………145

■ 私たちは万年野党になるつもりはない——鳩山由紀夫 147

■ 健全野党から完全野党になろうと思う——菅 直人 152

■ 次の次の衆議院選挙で政権を取る——鳩山由紀夫 156

■ わが党には自前の法律作成能力がある——菅 直人 160

第三部——鳩山と菅

団塊の世代としての責任……………167

■ 学生時代は「科学万能主義反対」に反対していた——鳩山由紀夫 169

■ 全共闘世代よ、リターンマッチのリングに立て——菅 直人 172

理科系議員からの発想……………177

■ 二一世紀は環境問題が政治の争点となる——鳩山由紀夫 179

■いまこそ「人工太陽計画」に挑戦すべきとき——鳩山由紀夫 183

■廃棄物処理問題で企業の姿勢が問われる——菅 直人 186

## 二人が目指す政治家像

■祖父と父から無言のうちに学んだこと——鳩山由紀夫 191

■方向性は明確に対応は柔軟に、を信条とする——菅 直人 194

## お互いの印象

■壊し屋に徹する点で二人は一致している——鳩山由紀夫 199

■鳩山さんはどこか地球人的ではない——菅 直人 202

■菅直人よ、官僚ハンターになれ——鳩山由紀夫 204

## 二人にとっての「妻」

■妻は最強の支援者にして最も厳しい有権者——菅 直人 209

■妻は太陽でありエネルギー——鳩山由紀夫

213

おわりに

菅直人

217

あとがきにかえて

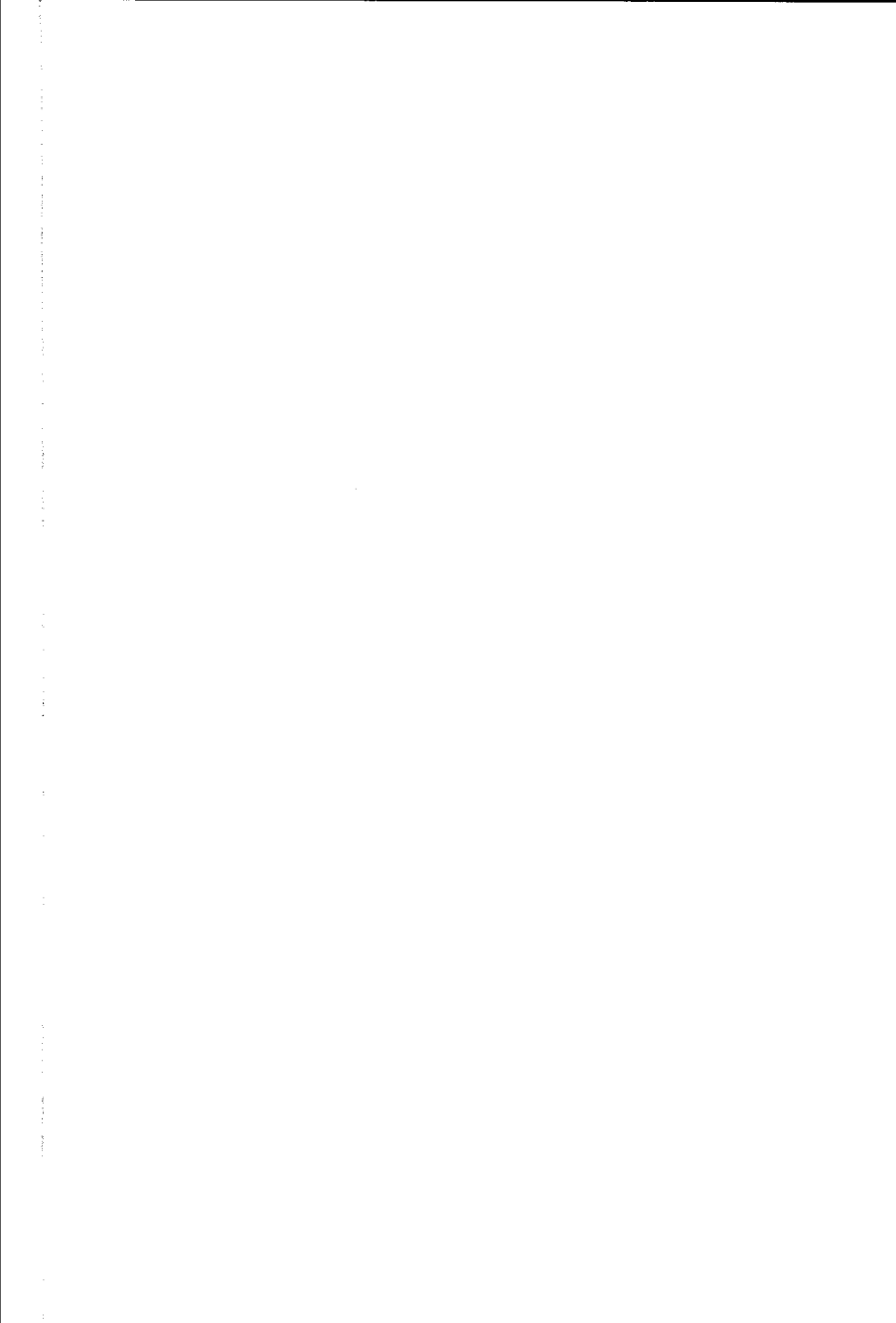
古川元久

221

民主党政策資料

225

装幀・上田晃郷



# 第一部

—  
政治こそ民益の代表

